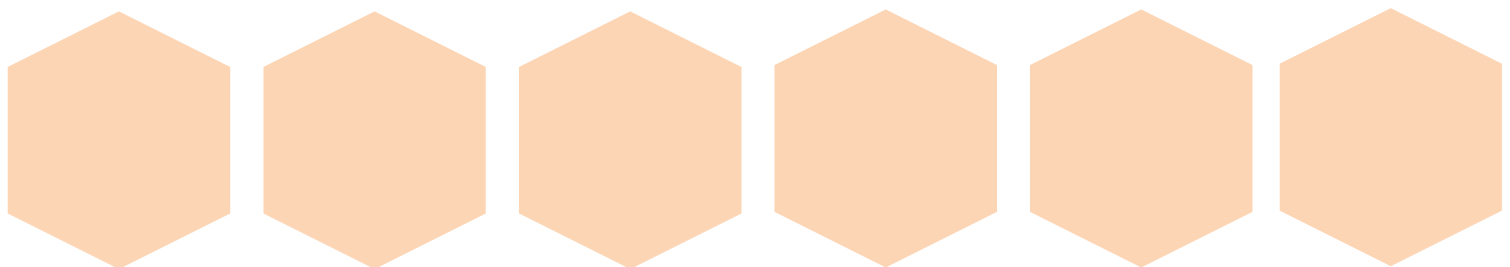


食品産業の 働き方改革 実践支援ハンドブック (仮称)



食品産業の

働き方改革

実践支援ハンドブック

(仮称)

1

食品産業事業者の働き方チェックリスト
～働く人や企業のために確認すべき9の取組～ P.2

2

食品産業の働き方の現状・課題・成功事例 P.3

3

課題解決のための方法 P.5

4

取組の支援策 P.6

5

ハンドブックの普及に向けて P.6



食品産業事業者の働き方チェックリスト ～働く人や企業のために確認すべき9の項目～

経営者のあなた、人事担当のあなた。さあ、まずはチェック！

はじめに

働き方改革をする必要性がよくわからないし、
余裕がない

YESの場合



P.3へ

NOの場合

(必要性はわかるけど、何から始めたら良いのだろう…)

Check list

NOの場合

長時間労働の改善	1	従業員の勤務時間の把握や時間外労働の縮減に取り組んでいますか	YES ☐ NO ☐	P. 4
	2	計画的な有給休暇の取得を推進していますか	YES ☐ NO ☐	P. ●
業務量の軽減	3	従業員は期限までに与えられた業務をこなせていますか	YES ☐ NO ☐	P. ●
	4	業務を一人で担当せず複数者で分担するなど、従業員への負担軽減の工夫をしていますか	YES ☐ NO ☐	P. ●
職場環境の改善	5	子育てや介護、病気治療をしている従業員のための多様な勤務体系はありますか	YES ☐ NO ☐	P. ●
	6	女性従業員のための設備（トイレや更衣室など）や制度（育児休業、育児復帰面談、託児所設置など）がありますか	YES ☐ NO ☐	P. ●
	7	高齢者の経験を活かせる業務分担ができていますか	YES ☐ NO ☐	P. ●
キャリア構築	8	パートタイム労働者や契約社員の正社員への登用制度はありますか	YES ☐ NO ☐	P. ●
	9	従業員を求める人材に育てるための研修制度はありますか	YES ☐ NO ☐	P. ●

1 食品産業の働き方の現状・課題

マクロ的分析（例えば、全産業と食品産業の比較）とミクロ的分析（食品製造業、食品流通業、外食・中食産業それぞれの課題）を通して、食品産業の「働き方改革」の必要性について示します。

現状・課題のポイント

.....

勤務時間の実態

勤務時間

休暇取得日数

休暇取得日数

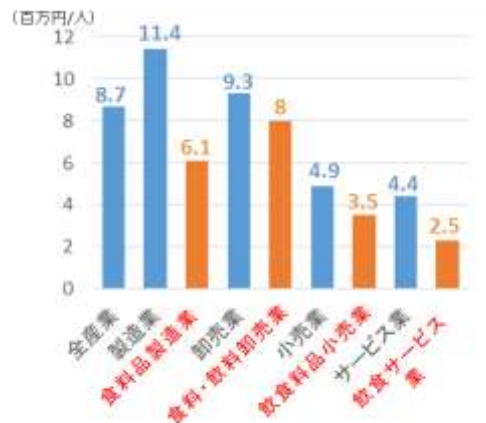
欠員率

欠員率

離職の理由

離職の理由

産業比較：コスト、付加価値額



図：食品産業の労働生産性
資料：「平成26年経済センサス」(総務省)を再編加工

2 食品産業事業者の「働き方改革」成功事例

食品産業事業者のうち、既に「働き方改革」に取り組む企業の成功事例を調査しました。自社での取組に活かせる考え方や、取組を考える上でのヒントがありますので、以下の事例をご覧ください、自社の状況に当てはめられるか考えてみましょう。



「働き方改革」に取り組むことで業績が右上がりに！



労務管理の方法を見直すことで、生産性が向上！



職場環境を改善したら、応募者が増加！

2 従業員の勤務時間の把握や時間外労働の縮減に取り組んでいますか

長時間労働が常態化していませんか？

トッスダウンによる時間外勤務の縮減

- 時間外勤務が当たり前となっている組織風土を変えるには、時間外勤務の縮減が経営方針として重要な取り組みであることを、トップが強い意思で従業員へ示すことが重要です。
- 具体的には、・・・の徹底をしましょう。

単純作業の自動化

- ……
- 具体的には、・・・の徹底をしましょう。

業務の「ムダ」の定期的な点検

- ……
- 具体的には、・・・の徹底をしましょう。

作業場や倉庫の5S

- 5Sとは、整理・整頓・清掃・清潔・しつけです。
- ……
- 具体的には、・・・の徹底をしましょう。

長時間労働の常態化は、従業員を疲弊させ、労働の質が下がり、顧客からの苦情やトラブルを引き起こしかねません。また、そうした環境に嫌気がさした従業員が離職してしまうかもしれません。

一方、作業の「ムダ」の点検など業務の見直しを行うことは、結果的に労働の質を高め、コストの削減や労働生産性の向上につながります。

取組事例

Point



- 24時間営業をやめることを決断した。
 - 思い切って休業日を設定した。営業時間を短縮した。
- など、トッスの大きな判断を必要とするもののほか、女性や高齢者の作業効率を上げるための器具等の軽量化に取り組むのも効果があります。

4

取組の支援策

前述の対応策を取り組むに当たり、以下に皆様のお役に立てる国や関係機関などの支援策を掲載しました。金融支援や経営の相談窓口もございますので、ぜひご活用ください。

case1

経営課題や業務の見直したいけど、どうすればよいのか。

■ よろず支援拠点

全国に設置されている経営相談所。中小企業の人材確保、売上拡大、経営改善など、経営上のあらゆる相談に対応。

■ プロフェッショナル人材戦略拠点

.....

case2

業務改善のため設備を導入したいが、資金が足りない。

■ 中小企業等経営強化法の支援

経営力向上のための設備投資などの取組を記載した「経営力向上計画」を認定されることにより、固定資産税の軽減措置や各種金融支援が受けられる。

■ プロフェッショナル人材戦略拠点

.....

5

ハンドブックの普及に向けて

本ハンドブックの趣旨を多くの食品産業事業者に伝え、経営者の行う業務改善のヒントを与えていくために、今後ハンドブックの普及が重要です。

以下のような取組を通し、ハンドブックの普及を図ります。



PR用ツールの作成



セミナーの開催



関係機関との連携



SNSやメルマガの活用



「働き方改革」
各地での説明会の開催